

平成29年度 決算のお知らせ

収入総額	56億6,908万2千円	(経常収入49億4,046万1千円)
支出総額	50億7,418万7千円	(経常支出50億646万円)
決算残金	5億9,489万5千円	(経常収支差引額▲6,599万9千円)

健康保険

当健保組合の平成29年度決算は、収入総額56億6,908万円、支出総額50億7,419万円となり、収支差引では5億9,489万円の残金が生じましたが、前年度からの繰越金や積立金からの繰入金等を除いた実質的な経常収支差引では6,600万円の赤字となり、4年連続の赤字決算となりました。

健保組合の主な収入源である保険料は、49億3,475万円(1,615万円増)となりました。

一方、主な支出は、皆さまの医療費にあてられる保険給付費22億1,430万円(同8,673万円減)、高齢者医療制度への財政支援にあてられる納付金23億8,094万円(同1億6,561万円増)となりました。その結果、この2つの支出のみで保険料収入の93%を占め、収入の不足分は前年度からの繰越金および別途積立金からの繰入金で補てんせざるを得ない非常に厳しい財政運営となりました。

全国の健保組合においても財政状況は深刻化しており、健康保険組合連合会がまとめた「平成30年度健保組合予算早期集計の概要」によると、全国の

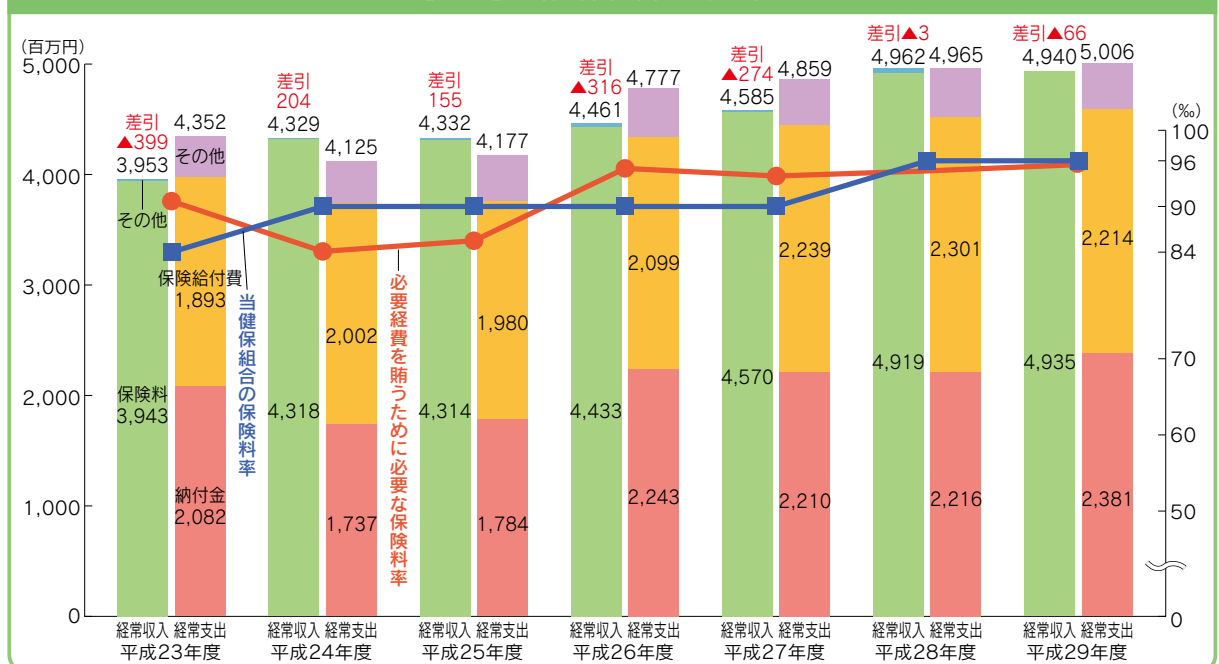
健保組合の6割を超える組合が赤字となり、平均保険料率は9.215%（調整保険料率含む。前年度比0.051ポイント増）、11年連続の増加となりました。今後、団塊世代の高齢化が進むことで、健保組合の納付金負担はますます増加し、健保組合の財政は厳しい状況が続くと見込まれています。

当健保組合では、医療費適正化のため、健診などのデータを分析して効果的な事業を行うデータヘルス計画を推進しています。皆さまにおかれましては、年に1回は必ず健診を受け、日々の健康管理に努めていただくとともに、ジェネリック医薬品を利用していただくなど、医療費適正化にもご協力いただきますようお願いいたします。

決算基礎数値 決算の基礎となった数値は次のとおりです。

被保険者数	10,280人
被扶養者数	6,513人
標準報酬月額	34万3,748円
総標準賞与額	101億5,311万円
保険料率(調整保険料率を含む)	96/1000

【参考】当健保組合の財政状況



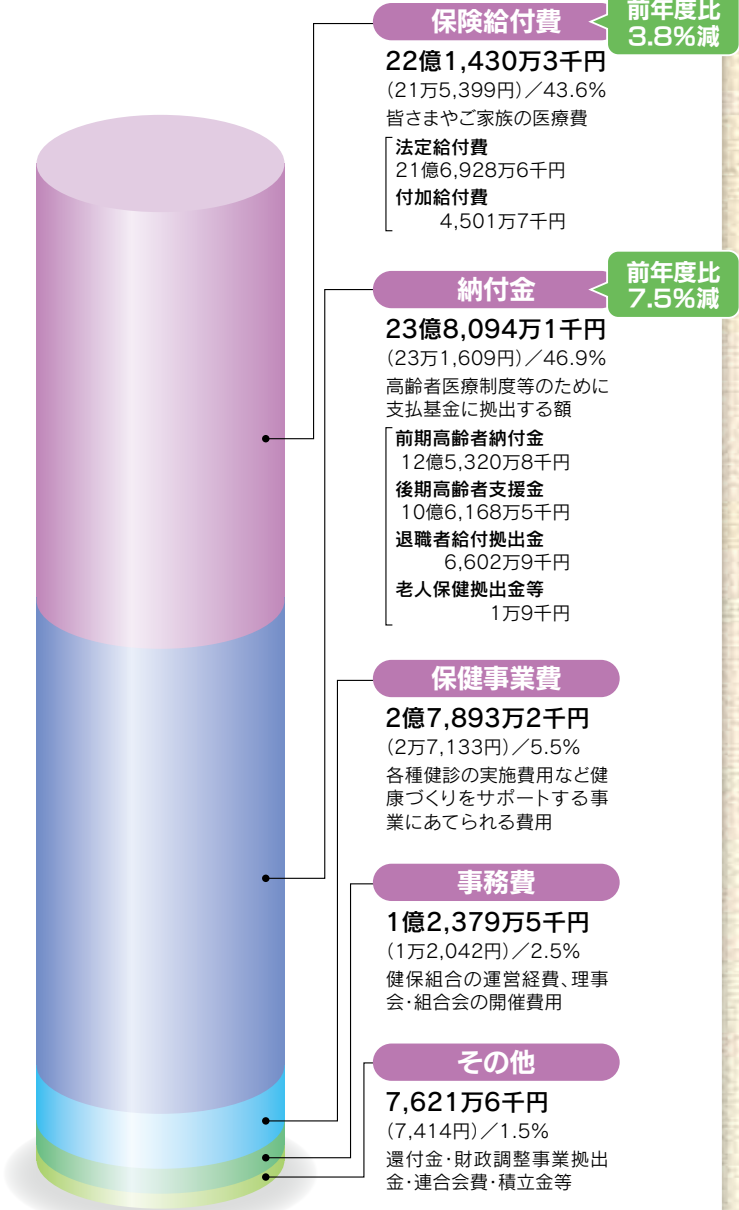
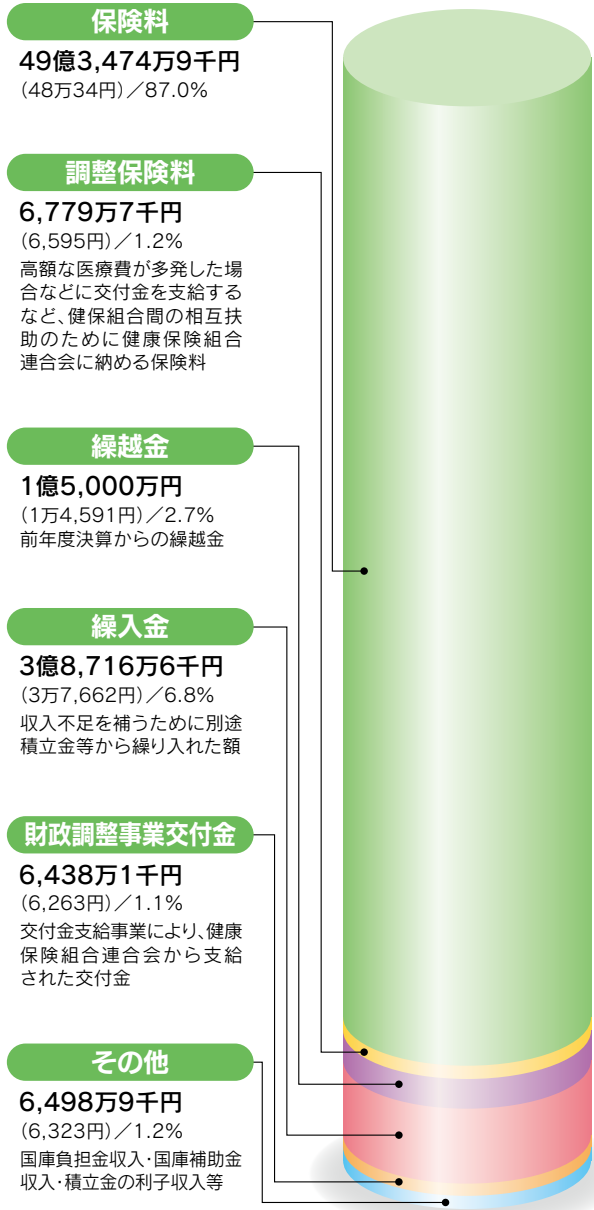
収入

収入総額 56億6,908万2千円 (55万1,467円)

支出

支出総額 50億7,418万7千円 (49万3,598円)

()内は「被保険者1人当たり額」
%は「総額に対する割合」



介護保険

健保組合では、40～64歳の被保険者（介護保険第2号被保険者）から介護保険料を国に代わって徴収し、国に納付しております。

平成29年度は、国へ納める介護納付金4億6,161万円に対し、介護保険収入は4億7,920万円となりました。収支差引額7,245万円は全額を準備金に積み立て、将来の支出増に備えます。

収入

科目	決算額(千円)	介護保険第2号被保険者1人当たり額(円)
介護保険収入	479,199	98,499
繰入金	50,000	10,277
国庫補助金受入	4,891	1,005
雑収入	5	1
合計	534,095	109,783

支出

科目	決算額(千円)	介護保険第2号被保険者1人当たり額(円)
介護納付金	461,608	94,883
介護保険料還付金	37	8
合計	461,645	94,891